

地域の未来像を 話し合いませんか？

「中山間地域『話し合い』促進事業」のご紹介

富山県 ワンチームとやま推進室
中山間地域対策課

「中山間地域『話し合い』促進事業」とは・・・

1 目的

地域コミュニティの維持・活性化のために、地域の未来像を話し合い、地域づくり計画の作成を行う

2 支援内容

(1) 対象者

自治振興会、地域運営組織、複数集落
(自治会、町内会等) など

(2) 支援内容

- ①専門家（講師）の派遣。活性化に向けた話し合いをコーディネート
- ②地域活性化のための地域づくり計画（アクションプラン）等の作成支援

※上記①、②に係る専門家（講師）への謝金、交通費等を県が負担



専門家による話し合いの支援



ワークショップ形式での意見とりまとめ

これまでの支援実績（R1～6）：50地区

年度	市町村	地区名	実施主体	地域データ		
				集落数	人口	世帯数
令和元年（8地区）　　＜富山市＞ 黒瀬谷　＜魚津市＞ 西布施,上中島,片貝,上野方　　＜砺波市＞ 梅檀野　　＜小矢部市＞ 南谷　　＜南砺市＞ 山野						
令和2年（3地区）　　＜富山市＞ 小見　　＜氷見市＞ 十二町　　＜南砺市＞ 平						
令和3年（7地区）　　＜富山市＞ 山田西部　＜氷見市＞ 柳田　＜黒部市＞ 東布施　＜砺波市＞ 東山見　＜南砺市＞ 福野東部,上平　＜朝日町＞ 山崎						
令和4年（11地区）　　＜富山市＞ 八尾町上四町,細入,上滝　＜魚津市＞ 松倉　＜氷見市＞ 宇波　＜黒部市＞ 愛本　＜砺波市＞ 雄神　＜立山町＞ 東谷 ＜南砺市＞ 安居,井口,太美山						
令和5年 (11地区)	富山市	神保	神保地区自治振興会	19	4,878	1,782
		福沢	福沢地区自治振興会	10	808	340
	氷見市	碁石	碁石地域づくり協議会	6	516	262
	黒部市	石田	石田自治振興会	8	5,655	2,492
		内山	内山自治振興会	5	376	186
		下立	下立自治振興会	5	917	380
	南砺市	利賀	利賀地域づくり協議会	19	437	204
		福野南部	福野南部地域づくり協議会	6	1,933	626
		北山田	北山田地域づくり協議会	14	1,463	482
		西太美	西太美地域づくり協議会	10	708	248
		福光	いつついし自治会	18	3,390	1,407
令和6年 (10地区)	富山市	下夕北部	下夕北部自治振興会	5	160	67
	氷見市	布勢	布勢地区地域づくり協議会	7	1,300	410
		藪田	藪田地区地域づくり協議会設立準備会	3	667	294
	黒部市	前沢	前沢自治振興会	10	2,341	821
	入善町	舟見	舟見自治振興会	8	1,060	497
	南砺市	広瀬館	広瀬館地域づくり協議会	3	589	185
		高瀬西	高瀬西地域づくり協議会	6	576	175
		東太美	東太美地域づくり協議会	12	1,015	342
		福野中部	福野中部まちづくり協議会	16	2,832	1,157
		北野	北野地域づくり協議会	4	855	290

「地域の話し合い」の手順と実施するプログラム

「地域の話し合い」の手順

全国には、多種多様な団体が様々なプログラムで地域活性化を図っているが、主な手順は以下のとおり。

Step 1 まずはみんなで地域のことを話し合う

まずは「地域の現状」、そして「地域の望ましい未来像」について話し合い、共感・共有を図る。

Step 2 地域をみんなで確認する。そして解決に向けたアイデアを出し合う

「地域の望ましい未来像」について、現状の地域資源（人、モノなど）を実際確認して、問題や課題を共有し解決のためのアイデアを出し合う。

GOAL みんなでできる活動とその計画を立てる

「地域の望ましい未来像」を目指し、問題・課題解決のための活動計画（アクションプラン）を策定する。

実施するプログラム

県では、左表に対応するプログラムを「〇〇未来会議」という名称で採用。

「地域の未来大予測」

「まち点検&アイデア大会」

「みんなでつくるアクションプラン」

“話し合い”進め方の一例

〇〇未来（みらい）会議

富山県の「話し合い促進事業」が主に実施する手法
地域全体の網羅的なアクションプランについて、白紙の状態から検討し、4～5回のワークショップを開催してプランを策定するプログラム

第0回：事前説明会&ファシリテーター研修 【所要時間:2.5時間 程度】

・「みらい会議」開催前に、地区役員等を対象とした地域づくりに関する講義・ファシリテーションスキルを学ぶための実習を行う

■ファシリテーターとは・・・話し合いを円滑に進めるため、考え方や道筋をさりげなく示し、参加者同士で結論を導きだせるように場の運営を工夫する役目を持つ人のこと

第1回：地域のみらい大予測 【所要時間:2.5時間 程度】

・多様な住民（老若男女）が参加して、地域の望ましい未来像についてのグループワークを実施。地域が目指すべき未来像を「見える化」する

第2回：まち点検&アイデア大会 【所要時間:6時間 程度（昼食時間含む）】

・第1回会議で提案された未来像を意識しながら、グループごとにテーマに沿ったまち点検（まちあるき＋住民インタビュー）を実施。テーマに合った地域資源の発見や課題解決に向けたアイデア等を見つける

第3回：みんなでつくるアクションプラン① 【所要時間:2.5時間 程度】

・第2回会議で提案されたアイデアから、望ましい未来像実現のため、住民全体で取組みたい事業について、今後の活動計画をまとめた「アクションプラン」を作成する

第4回：みんなでつくるアクションプラン② 【所要時間:2.5時間 程度】

・第3回会議で作成したアクションプランについて、実施体制、資金、年度ごとの活動など、アクションプランをより具体的に検討する

※地域のご要望に合わせて、第3回と第4回を合同開催とし、アクションプラン作成を1回で実施することも可能です
※開催の間隔は1か月程度

參考資料

「事前説明会&ファシリテーター研修」(第0回)の流れ

未来会議の開催前に、地域づくりの中心となる住民(地区や団体の役員)を対象に、地域づくりに関する講義やファシリテーションスキルを学ぶための実習(グループワーク)を行う

専門家(講師)による講義

- ・ 専門家(講師)による地域づくりの必要性や進め方に関する講義を実施。



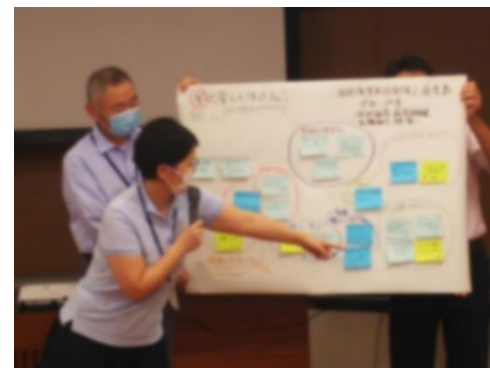
参加者によるグループワーク

- ・ 設定したテーマ(「地域の良いところ等)について意見を付箋に記入しグループ内で発表、共有する。
- ・ 付箋に記入した意見を、関連するものごとに分類・集約してまとめる。



グループごとに発表

- ・ グループごとに、まとめた結果を発表し、参加者全員で共有する。



ファシリテーター研修に参加した方が、次回以降の話し合い(未来予測、アイデア大会等)のグループワークにおいて、ファシリテーター役を務めることになります

「地域の未来大予測」(第1回)の流れ

老若男女の多くの住民が参加、地域の望ましい未来像についての話し合い、グループごとに**目指すべき地域の未来像**をまとめる

地域の未来像の話し合い

- ・参加者自身が考える地域の未来像を付箋に書きだす。
- ・考えた未来像をグループ内で発表する。



各グループのファシリテーター役は、**参加者が発言しやすい環境づくり**(人の意見を否定しない等)に努める

未来像のとりまとめ

- ・未来像が書かれた付箋を、関連するものごとに分類・集約。
- ・グループごとに模造紙にまとめる。



グループごとに発表

- ・グループごとにまとめた未来像を発表し、参加者全員で共有する。



(例)
「人口が増え、子供の声が響いている」
「空き家が利活用されている」等

話し合いをうまく進めるためのポイント

女性や子供を含む多くの住民の参加



茶菓子の用意



リラックスできる雰囲気づくり

ミニゲームで気分転換



「まち点検&アイデア大会」(第2回)の流れ

目指すべき未来像の実現に向けて、グループごとにテーマに沿った「まち点検」を行い、地域資源の発見や課題の解決に向けたアイデア等を見つける

作戦会議

- ・テーマに沿ってグループ毎に、まち点検を行う場所や役割分担を決める。



まち点検 (まちあるき&住民インタビュー)

- ・グループ毎のまちあるきで、地域資源(地域の宝物)を見つけ、必要に応じて住民へのインタビューを行う。



地域資源(地域の宝物)の発見



住民インタビュー

アイディアマップの作成



- ・まち点検で発見した「地域資源の情報」「課題・問題点」「課題の解決に向けたアイデア」をアイディアマップとして模造紙にまとめて発表する。

「みんなでつくるアクションプラン」(第3回、4回)の流れ

アイデア大会で出された課題の解決に向けたアイデアを地域の未来像の実現のために取り組みたい事業として絞り込み、実施体制や年度ごと活動計画等をアクションプランとしてとりまとめる

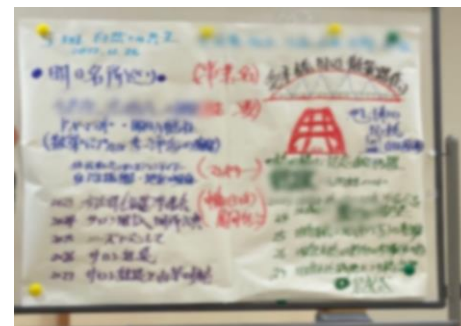
事業の絞り込み

- ・アイデア大会で出されたアイデアから、住民主体で取り組みたい事業を絞りこむ。



アクションプランの作成

- ・絞り込んだ事業について、実施体制や資金調達方法、年度ごとの活動計画等を記載したアクションプランとしてまとめる。



○アクションプランの例

事業の概要や事業に関わるひと(実施体制)、お金(資金調達方法)、年度ごとのステップ(活動計画)を記載

アクションプラン作成後、地域は市町村等と連携しながらプランの実現にむけた活動を進めていく

アクションプランの実現に向けた取り組み

話し合いを実施した地域では「**中山間地域チャレンジ支援事業**」等を活用しアクションプランの実現に向けた取り組みが行われている

中山間地域チャレンジ支援事業

地域の活性化に向けて、集落と地域内外の企業や団体等が連携して取り組む試行的な活動を支援

〇助成額

(ソフト事業)

25万円※/地区/年×最大3年間

※ステップアップ支援は50万円

(ハード事業)

補助率1/2以内 補助上限100万円/地区

富山市黒瀬谷地域

交流施設を拠点とした農業活性化や子供教育の充実などの活性化プロジェクトの実践



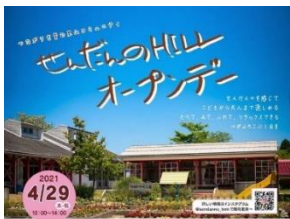
近隣地域と連携した食体験イベントの開催



ピザ職人を招いた子供向けのピザづくり体験会の実施

砺波市梅檀野地域

地域で引き取った旧幼稚園舎を交流拠点として再整備、各種コミュニティビジネスを展開



旧幼稚園舎を再整備した交流施設



交流施設内でのコミュニティカフェの開設

南砺市平地域

空き家や空き地を活用した交流スペースづくり、地域を元気にするショートムービーの製作



地元住民・高校生による地域の魅力発信ショートムービーの製作



集落内の空き地を活用した子供の遊び場の整備

魚津市片貝地域

宿泊・体験施設に改装したコミュニティセンターを拠点とした交流・関係人口の拡大



地元スポーツ少年団の合宿受け入れ



地域内外からのお客をもてなすための地元料理の開発